

第5回 市民検討委員会

検討内容

1. 第4回市民検討委員会のまとめについての確認・・・(事前配付)

- ・市民利用機能について
- ・併設する機能について

2. 市民協働で進める市庁舎づくり・・・・・・・・・・P2

市庁舎建設の全体プロセスへの市民の関わり方について

3. 市民案の全体構成の再確認

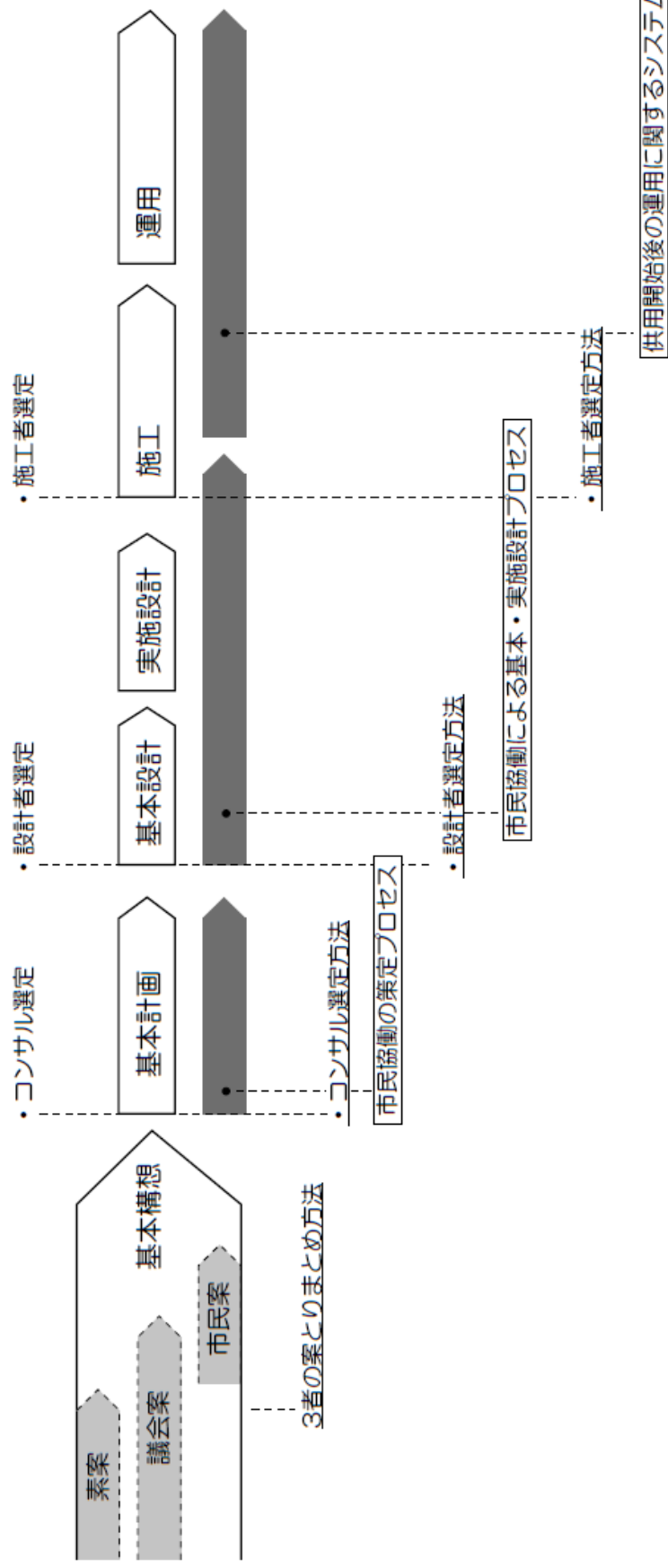
- ・市民案の全体構成・・・・・・・・・・P3
- ・こんな市庁舎をつくりたい！（5つの基本イメージ）・・・・P4
- ・新庁舎建設の基本方針・・・・・・・・・・P5
- ・新庁舎に導入する市民利用機能・・・・・・・・・・P6

4. 建設場所について・・・・・・・・・・P7

□市民協働で進める市庁舎づくり

市庁舎建設の全体プロセスと市民の関わり方について

委員会では、様々な市民が市庁舎の建設を通して、建てるプロセスにも、完成後もずっとかかわっていけるような市庁舎にしたいという意見が出されています。全体のプロセスの中に市民がどのようにかわるか、について議論します。



市民案の全体構成

1. 市庁舎建替えの必要性について

- A) 現庁舎の老朽化、耐震性への不安、市民サービス機能の不足などの改善が求められ、ほとんどの市民が建替えの必要性を感じている。

2. こんな市庁舎をつくりたい！

-----新庁舎の目指すべき姿（5つの基本イメージ）-----

- A) 明るく、利用しやすい、公園のような市庁舎
- B) 効率的な行政を推進しやすく、無駄のない市庁舎
- C) 市民の交流を生み、市民の活動を支える市庁舎
- D) 議会の活動が市民に分かりやすい市庁舎
- E) 安全・安心の拠り所となる市庁舎

3. 新庁舎建設の基本方針

- A) すべての人にやさしいユニバーサルデザインへ配慮する
- B) コンパクトで無駄のないローコストなつくり方に配慮する
- C) 自然エネルギーの活用などを工夫し、地球環境に配慮する
- D) 耐震性や長期にわたる維持管理に配慮する
- E) 情報化への対応やスペースの可変性に配慮する
- F) 駐車場のつくり方に配慮する

4. 新庁舎に導入する市民利用機能

- A) 宇部市の情報を発信し、宇部市をアピールする総合情報機能
- B) 市民交流を支え、協働のための拠点となる空間
- C) 市民の憩いの場となる空間
- D) 市民生活を支える施設との合築
- E) 商業機能（売店など）の併設

5. 建設場所について

- A) 現市役所敷地での建替えが適当と考える

6. 建設プロセスへの市民の関わり方

- A) 市民協働による庁舎建設のプロセスのあり方

こんな市庁舎をつくりたい！（5つの基本イメージ）

A) 明るく、利用しやすい、公園のような市庁舎

- ・ 明るく、親しみやすいこと
- ・ 分かりやすく、利用しやすく、充実した市民サービスが受けられること
- ・ 緑と花と彫刻のまちのイメージを先導する公園のような場所であること

B) 効率的な行政を推進しやすく、無駄のない市庁舎

- ・ コンパクトで働きやすい環境であること
- ・ 情報化に対応できる柔軟な機能を有すること
- ・ 維持管理費の低減を工夫し、地球環境にやさしいこと

C) 市民の交流を生み、市民の活動を支える市庁舎

- ・ 市民活動のためのスペースが無駄なく配置されていること
- ・ 市民の様々な活動を支え、市民相互の交流が生み出せること
- ・ 宇部市の観光情報やイベント、市民の活動などの情報発信の拠点となること

D) 議会の活動が市民に分かりやすい市庁舎

- ・ 市民と議会を近づける開かれた空間づくりに配慮されていること
- ・ 議会の立法機能の強化につながる空間が確保されていること
- ・ 議会スペースの有効活用を工夫すること

E) 安全・安心の拠り所となる市庁舎

- ・ 防災拠点としての機能を充実させること
- ・ 危機管理システムの整備とそれを支える空間機能がマッチしていること
- ・ 建物の耐震性や非構造部材の落下防止などに配慮されていること

新庁舎建設の基本方針

A) すべての人にやさしいユニバーサルデザインへ配慮する

- ・すべての人にやさしい庁舎
- ・少子・高齢社会に対応した庁舎

B) コンパクトで無駄のないローコストなつくり方に配慮する

- ・出来るだけシンプルな構造とし建設コストを押さえた庁舎

C) 自然エネルギーの活用などを工夫し地球環境に配慮する

- ・省エネに配慮し環境にやさしく経済的な庁舎

D) 耐震性や長期にわたる維持管理に配慮する

- ・耐震性を重視し、維持管理のしやすい長寿命の庁舎

E) 情報化への対応やスペースの可変性に配慮する

- ・急速に進展する情報化に柔軟に対応し、将来の空間の可変性に対応するフレキシブルな庁舎

F) 駐車場のつくり方に配慮する

- ・バスやタクシーなどの公共交通や、自家用車、自転車、電動車いす、などの様々な交通機関に対応する駐車場のつくり方を工夫する

新庁舎に導入する市民利用機能

市民利用機能について

A) 宇部市の情報を発信し、宇部市をアピールする総合情報機能

- ・ 地域情報の発信の拠点となる空間

今宇部で何をやっているのか、市政の課題は何か、など市政情報の的確な発信など、他の施設では代用できない情報発信機能を併設する

- ・ 宇部市をアピールする空間

宇部市の歴史や文化、特産品などの魅力を発信し、「宇部の今」が分かる空間をつくる

B) 市民交流を支え、協働のための拠点となる空間

- ・ 多様な催しに対応するフレキシブルで大きな空間

市民及び各種市民団体、NPO などとの意見交換、市民会議、物産展などの様々な市民主体の行事などに対応できる交流広場となる多機能な空間をつくる

- ・ 市民の交流やふれあいのための空間

市民にとって親しみの持てるような活動や、交流の場所としての市庁舎への期待がある。

- ・ 目的を持った市民活動のための空間

現在、市民活動は多様に展開しているが、活動の場所があちこちに分散している現状なので、市役所に集約できるものはまとめ、市民にとって使いやすいものにしたい。

C) 市民の憩いの場となる空間

- ・ 市民の憩いの場となる公園のような場所

市民にとって親しみの持てるような空間や、設えを用意し、子どもなどにとっても市役所が身近なものに感じられるようにする

併設する機能について

D) 市民生活を支える施設との合築

情報の拠点となる機能の併設、及び、現在、市民生活に必要な各種手続きなどのための行政機能が分散している状況を、市庁舎の建替えを契機に改善して欲しいという意見が多く見られた。また、現在隣接している税務署との合築により、より効率的な敷地利用を図ることへの期待も寄せられている。

E) 商業機能（売店など）の併設

売店などの販売機能が必要である。

コンビニ等の誘致を考える

建設場所について

A) 現市役所敷地での建替えが適当と考える。

(理由)

- ・ これまでの意見では、現地での建替えの意見が多いこと。
 - ・ 全委員の意見を一つにまとめることが、不可能と思われること。
 - ・ 現実的に、現在地以外の具体的な場所が提案できないこと。
 - ・ これまで意見があった「新川駅周辺」、「神原小学校」、「常盤公園」には、それぞれに課題があり、不測の時間や費用負担が大きいと思われること。
-
- ・ 現在地以外の意見については、市民案に列記する。